



清 央 小 だ よ り

令和5年度 第3号
2023. 5. 10

教 育 目 標	「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」 ・自ら学び工夫する子ども (考える) ・元気でがんばる子ども (鍛える) ・礼儀正しく思いやりのある子ども (思いやる)
---------	---

イエローリボンは何の印？

5月は宇都宮市を挙げての「いじめゼロ強調月間」。本校でもイエローリボン運動（小さなイエローリボンシールを胸章に貼っています）を展開し、全校挙げて、いじめゼロの誓いを新たにしています。清原地域学校園では、様々な小中一貫教育の取組がなされているところですが、そのひとつとして、児童・生徒指導の分科会では連絡会議を充実させています。イエローリボンシールもその中で生まれたアイデアのひとつです。今年は第1回連絡会議が6月22日に予定されています。児童指導の担当はもちろん、校長や旧6年生担任、市教育委員会の担当者などが中学校に一堂に会し、児童生徒指導と適応支援の充実に向けて、真剣に協議して参ります。

「いじめを見逃さない」から

「いじめられる子どもを守る」そして

「いじめをしない子どもを育てる」へ！

ある教育誌にこのような記事がありました。

『いじめの心理を考えると、加害者の背景にいじめ人格というような固定的なものがあるわけではなく、おそらく一人の子どもの中で、善と悪の葛藤が生じ、時に悪の衝動が勝って、いじめを行ってしまうことになるにとらえるべきであろう。「いじめは良くない」とはほとんどの子どもが分かっているはずなのに、関わらず、小学4年生から中学3年生までの6年間の追跡すると、9割の子どもがいじめた経験を持っているという調査結果（国立教育政策研究所 2016）もあります・・・』

そしていじめの衝動が起きる原因として次のような例を挙げています。

『①心理的ストレス②集団内の異質なものへの嫌悪感情③妬みや嫉妬感情④遊び感覚やふざけ感覚⑤金銭などを得たいという利得勘定⑥被害者となることへの回避勘定 など』

ご家庭でもいじめゼロ強調月間にあわせ、「お友だちに優しくしてる？嫌がることはしていない？」という声掛けの機会を増やしてみてください。学校と家庭でしっかり手を組んで、一人一人の“困り感”にまなざしを向け、「いじめをしない子」を育てていきましょう。

いじめゼロへ向けた、清央小の取組をいくつか紹介します・・・

① 夢いっぱいプロジェクト

子どもたちは“夢プロカード”に目標を設定します。中学年以上の児童は目標達成のための具体的な行動も記します。そしてみんなで目標達成をたたえることで一人一人の自己肯定感を高め、夢を描ける子を育てることを目指します。

② 家庭訪問

全戸家庭訪問にご協力いただきありがとうございました。発達段階によって課題は異なり、一人一人の悩みも多様化している今日、子育ての上で思うようにいかないことも少なくないでしょう。心配なことは、いつでも担任までご相談ください。

③ 校内支援委員会

15日には全職員で研修（校内支援委員会）をもち、各学年の児童についての情報交換と支援方針の検討をします。職員が様々な視点から、全職員で一人一人を見つめることで、その子なりの困り感に気づき、チームで対応できるようにします。

④ 児童主体の運動会

24日の運動会。各学年のプログラムへの取組はもちろんですが、上学年の児童にとっては、応援団に参加したり、係の活動で運営の主体となったりすることで、大きな達成感を得られる行事です。表現種目の“はじける笑顔”も楽しみです。

5月は、「いじめゼロ強調月間」です。